

令和8年度

神戸大学大学院人文学研究科

博士課程後期課程

外国人特別学生進学者追加選考要項

(神戸大学大学院修士課程・前期課程在学者用)

神戸大学大学院

人文学研究科

R8 D 進 外 追

1 専攻及び教育研究分野

専攻	コース	教育研究分野
文化構造	哲学	哲学、倫理学
	文学	国文学（国語学を含む）、中国・韓国文学、英米文学、ヨーロッパ文学
社会動態	今回の追加募集では、社会動態専攻の学生募集は行いません。	

2 募集人員 若干名

3 出願資格

外国人特別学生として進学を志願できる者は、留学の目的をもって日本に入国した外国人で、次に該当する者としてします。

神戸大学大学院の各研究科において令和8年3月に修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者

4 出願期間

令和8年2月27日（金）から令和8年3月2日（月）まで 必着

出願書類の受付は郵送のみとします。直接持参しても受理しません。なお、郵便事情を考慮して早めに送付してください。

書留速達郵便とし、封筒表面に「大学院人文学研究科博士課程前期課程入学願書」と朱書きすること。

5 出願手続

志願者は、次の書類等を取りそろえ、神戸大学大学院人文学研究科教務学生係に提出してください。

(1) **進学願書・履歴書・写真票**… 用紙は本研究科で交付します。

※願書に氏名を記入する際の注意事項

日本人以外で氏名が漢字表記の場合は、パスポートと同じアルファベット表記の氏名を併記してください。

(2) **修士課程又は前期課程修了見込証明書**…原本を提出してください。

(3) **修士課程又は前期課程の成績証明書**…原本を提出してください。

(4) **論文 2部（コピー可）**… 修士論文又はそれに相当する論文を提出してください。いずれの場合も、併せて提出論文の要旨を日本語で3,000字～5,000字程度にまとめたものを2部添付してください。

(注) 提出論文が外国文の場合、その論文の日本語訳の提出を求められることがあります。

- (5) **研究計画書 3部 (コピー可)**… 本研究科のホームページからダウンロードした「研究計画書」を使用し、A4版両面印刷で提出してください。*「研究計画書」は以下のURLからダウンロードできます。
<https://www.lit.kobe-u.ac.jp/admission/doctor.html>
- (6) **写 真 3 枚**… 上半身脱帽正面写し、大きさは縦4cm×横3cm。出願前3か月以内に撮影したものを願書等所定のところに貼付してください。
- (7) **受験票送付用封筒**… 定形封筒（長形3号縦23.5cm×横12.0cm）に速達用郵便切手（410円）を貼付し、出願者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
- (8) **住 所 票 3 枚**… 本研究科交付の用紙に、出願者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

6 入学者選考方法

選考は、口述試験、研究計画書、修士論文（又はそれに相当する論文）及び成績証明書等の結果を総合して行います。

口述試験 令和8年3月17日（火）10:00～

口述試験は個人単位で行い、提出資料を参考に志望理由や進学後の修業計画等について質疑応答を行います。

7 合格者発表

令和8年3月23日（月）10:00（予定）

本研究科ホームページに掲載するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。（電話での照会には一切応じられません。）

8 授業料

前期分 267,900円（令和7年度実績）

後期分 267,900円（令和7年度実績）

（在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。）

9 個人情報の取扱いについて

- (1) 本研究科が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「神戸大学の保有する個人情報の管理に関する指針」等に基づき厳密に取扱います。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続業務、今後の入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究のために利用します。なお、

調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

- (3) 出願にあたって提出された個人情報、入学者の個人情報についてのみ入学後の学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請）、教務関係（学籍、修学指導）等の教育目的及び授業料等に関する業務並びにこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (4) 一部の業務を神戸大学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、業務を行うために必要となる限度で受託業者に個人情報を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

10 入試情報開示について

受験者本人（合格者は除きます。）から開示請求があれば、令和8年度入試の個人の試験成績を書留郵便により郵送します。

開示する試験成績は、総合評価（A・B・C）で通知します。

① 請求方法 次のものを同封のうえ、必ず受験者本人が郵送により請求してください。

- ・令和8年度神戸大学大学院人文学研究科博士課程後期課程追加募集の受験票
- ・返信用封筒（長形3号 縦23.5cm×横12.0cm）460円切手貼付、返信先宛名明記）

② 請求期間 令和8年5月1日～令和8年6月30日（必着）

③ 開示時期 令和8年7月1日以降順次、書留により郵送します。

④ 請求先 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学大学院人文学研究科教務学生係 TEL 078-803-5595

11 麻しん（はしか）、風しんの感染予防措置

麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では「麻しん風しん登録制度」を定め、入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため、全ての新生に次の①、②、③のいずれかを提出していただいています。

① 麻しん・風しんのワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類（推奨）

② 過去5年以内（令和3（2021）年4月以降）に麻しん・風しんのワクチン接種を、それぞれについて1回ずつ受けたことを証明する書類

③ 過去5年以内（令和3（2021）年4月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が、「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次頁の表を参照）を有していること」を証明する書類

* ①、②のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでもかまいません。

* ①、②では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。

* 母子手帳等のワクチン接種記録や接種済証も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①、②の書類として使用できます。

* 既往歴（かかったこと）がある場合は、③を提出するか、ワクチン接種を受けて①か②を提出してください。

* ③では、下の表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でもかまいません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①か②を提出してください。

* ①、②、③の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては③を提出してもかまいません。

* 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。

* 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：4月入学者は新入生健康診断実施日、10月入学者は10月入学者健康診断実施日

提出先：健康診断会場内 麻疹風疹登録受付

麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準

区分	測定方法	判定基準	備考
麻しん	IgG-EIA 法	8.0 以上の陽性	3つの測定方法のうち、いずれかで陽性
	PA 法	256 倍以上の陽性	
	NT 法	4 倍以上の陽性	
風しん	HI 法	32 倍以上の陽性	2つの測定方法のうち、いずれかで陽性（HI 法を推奨）
	IgG-EIA 法	8.0 以上の陽性	

* ワクチン接種歴が条件を満たす場合や追加接種する場合は、抗体検査は不要です。

* 血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。

* 発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、単に抗体陽性とされる値よりは高い値なので注意してください。

* 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この学生募集要項を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。

この感染予防措置に関する問い合わせは

神戸大学保健管理センター TEL 078-803-5245

神戸大学学務部学生支援課 TEL 078-803-5219

12 注意事項

- (1) 出願手続後は、書類の記載事項等の変更は認められません。
- (2) 検定料及び入学料は、不要です。
- (3) 志望専攻、教育研究分野、受験語学等を願書所定の欄に記入してください。出願書類等に不備がある場合には、受理できないことがあるので出願前によく確認してください。
また、出願書類に不備がある場合等、願書に書かれた電話番号やメールアドレス宛に連絡をすることがあります。これらの確認漏れによる救済措置は行いませんので、ご注意ください。
- (4) 受験に関する詳細については、出願者に配付する「受験者心得」を参照してください。
- (5) 出願後に連絡先について変更が生じた場合は、速やかに連絡してください。
- (6) 受験票は令和8年3月6日（金）までに到着するよう本人現住所（連絡先）に郵送します。3月6日（金）を過ぎても到着しないときは、問い合わせてください。
- (7) 障害等があつて、受験上の配慮を必要とする出願者は、出願までに申し出てください。
(注) 事前申出は障害等のある方に神戸大学の現状をあらかじめ知っていただき、受験にあたってより良い方法を実現するためのもので、障害等のある方の受験を制限するものではありません。
申出の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。
- (8) 一度受理した出願書類は、返却いたしません。
- (9) 出願書類等に虚偽の申告をした者又は出願資格を満たすことができない者については、入学手続き完了後であっても入学を取り消すことがあります。
- (10) 合格者の入学手続は令和8年3月下旬の予定です。（日時は、合格者に別途通知します。）

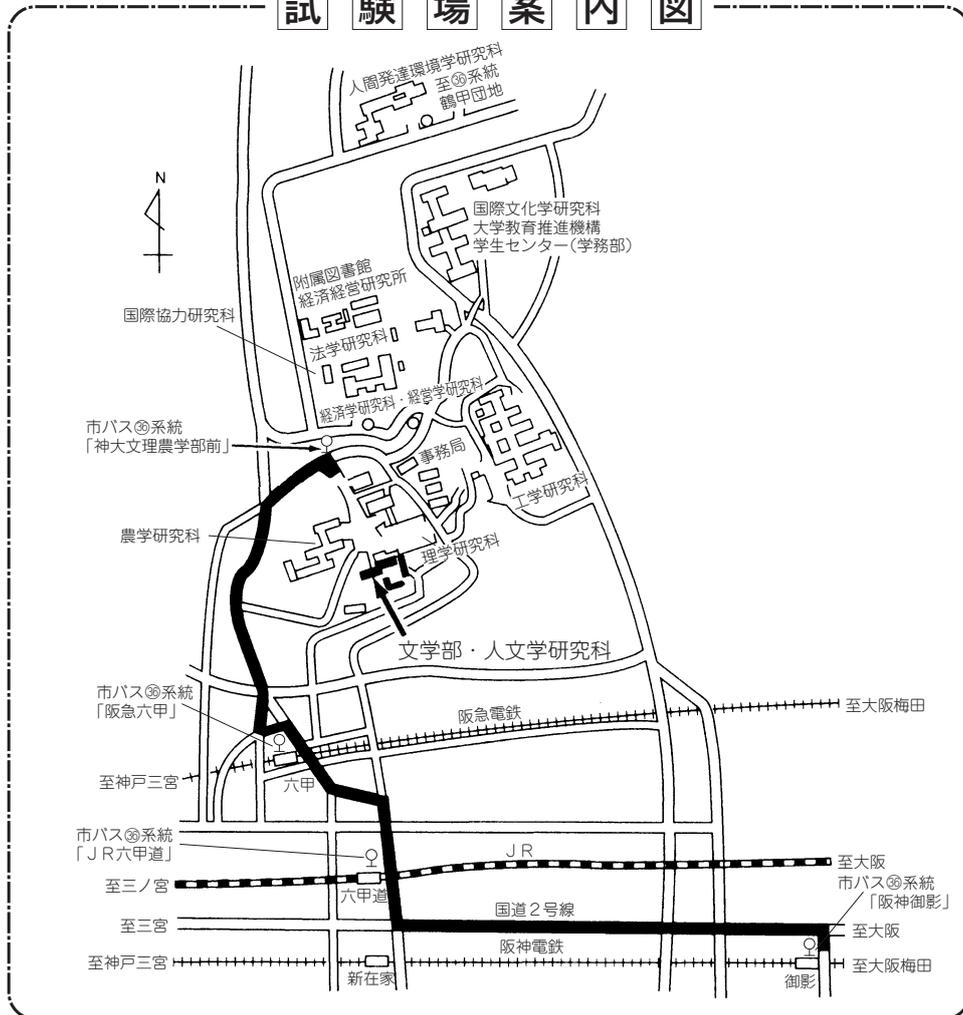
令和7年度 コース，教育研究分野，教員の専門分野

神戸大学大学院人文学研究科
(文化構造専攻)

コース		教育研究分野		教員の専門分野	
名称	内容	名称	内容	教員名	研究内容
哲学	<p>哲学コースは、各地域、各時代における哲学・倫理学思想を研究し、その歴史的な特殊性を明らかにするとともに、それらの思想が空間や時間の制約を離れて持ちうる普遍的な意味を探究する。あわせて、この研究によって培われた方法と知見に立って現代における哲学・倫理学思想の可能性を追求し、さらに21世紀において焦点の課題とされる諸問題に対する解決策を提示することを旨とする。また、科学の理論構成や方法を内面的に分析するとともに、科学を成立せしめている論理的かつ文化的な制約を十全に理解することで、その意義と可能性を批判的に分析する。さらに哲学・倫理学以外の専門科学との交流を求め、現代における哲学・倫理学思想の有効性を探究する。</p> <p>哲学コースでは哲学・倫理学全般に対する展望と、哲学的文献を読解するための基本的技術の習得に重点を置くとともに、個別のテーマに即して専門的な教育研究を行う。加えて、現代において哲学・倫理学が担う社会的責務を十分に自覚しながら、現代的な諸問題を具体的に考察する能力を涵養する。</p> <p>以上のような教育研究によって、人類の英知と価値観を学ぶことを通じて培われた洞察力を活かし、科学の発展を踏まえて、現代社会の抱える諸問題の解決へ向けた確に考察できる人を育成する。また、そうした能力を次世代にも継承させる教育能力をもった専門家を養成する。</p>	哲学	<p>哲学コースの特色は、自由闊達な精神と旺盛な批判精神にある。古代ギリシアから現代哲学まで広範かつ多様な研究領域をカバーできる豊富なスタッフが擁するため、個人指導も徹底できる。哲学・倫理学の在籍者全員と全教員が参加する合同演習もあり、修士・博士論文の作成などに大きな効果を発揮している。さらに、「哲学懇話会」は機関誌『愛知』の定期的な刊行などを行っている。修了後は、研究者の道に加え、マスコミ・出版関係をはじめとする一般企業で活躍する学生が増えている。</p>	茶谷 直人	ギリシア哲学・倫理学、および生命医療倫理学
		☆加藤 憲治	フランス哲学・哲学史		
		新川 拓哉	現代分析哲学		
		ジミー・エイズ*	科学哲学・アメリカ哲学		
倫理学	<p>人間と社会の在り方が未曾有の変容を遂げつつある現在、「生き方の学的探求」としての倫理学には、様々な問題の原理的捉え直しと、新たな共生のビジョンを描き出す「倫理創成」が求められている。倫理学分野では、哲学分野とも連携しつつ、古典的な規範倫理学、道徳的概念の分析を行うメタ倫理学、科学技術や医療といった現代の問題に取り組む応用倫理学まで幅広く研究が行われている。また、生命・環境・工学などをめぐる問題に関し、人文学研究科のスタッフ・院生が学際的に取り組む「倫理創成プロジェクト」に参加することも可能である。</p>	中 真生	現代フランス哲学・倫理学		
☆安倍 里美	メタ倫理学、生命倫理学				
文学	<p>文学コースは、人類が蓄積してきた文学作品を、テキスト分析の方法を基軸として、民俗学・歴史学・哲学・心理学等の隣接諸学域の成果をとりいれて、広い視野に立って深く研究する能力の涵養をはかる。その研究対象は、古代より近代に至る古典的文学作品から、現代の文学作品にまでわたる。その教育研究を通して、古典的文学作品の価値を現代に再生し、文学という最も普遍的で優れた文化的遺産を将来に継承するとともに、それぞれの文化的背景のもとに生成されつつある現代の文学作品の価値を、異文化圏に向けて発信することで、異文化理解・多文化共生の橋渡しの役割をも担う人材を養成する。</p> <p>本コースは、まず、日本、中国・韓国等のアジア文学、また英・米・独・仏・伊等の西洋文学の各分野について、それぞれの研究領域が築いてきた伝統を踏まえて各領域個別の研究を発展・深化させるために、古典日本語・現代日本語・中国語・韓国語・英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語等の諸言語に関わる語学力の向上を目指す。それとともに、テキスト読解のスキルや、哲学・文学理論の応用能力等の修得を行い、人文学の基盤的な学問としての文学研究を強化する。それに加えて、各国文学を横断的に教育研究することによって、多角的な視野を持った文学研究を目指す。所属の学生には、各自の専門的研究を深化させるとともに、倫理創成プロジェクト等が提供する研究科共通科目を履修させることによって、現代社会の諸問題を広い視野から考察する方法を学ばせ、文学研究を知識基盤社会の形成に応用する能力をも涵養する。</p> <p>以上のような教育研究方法によって、文学コースでは、古典テキスト研究能力と確かな語学力に基づく分析能力により、文学的遺産を将来に継承できる人材・文化交流の架け橋となる人材を養成する。</p>	国文学	<p>日本の言語文化の特質について、また日本文化を通して見た人間の普遍性について研究する。前期課程ではテキスト解析能力の鍛錬、後期課程では高度な研究能力の涵養等を行う。</p> <p>古典文学、近世・近代文学、国語学、日本語教育学の各分野に合わせて7名の教員が配置されており、学生の多様な研究テーマや進路志向に対応できるよう、国語国文学の諸領域をカバーしている。教員・在学生・卒業生による学会「神戸大学文学部国語国文学会」の機関誌『国文論叢』、院生の自主運営雑誌『国文学研究ノート』等、研究発表の場も豊富である。</p>	○◇ 實平 雅夫	日本語教育・日本文化教育
		樋口 大祐	日本中世文学		
		石山 裕慈	日本語史		
		梶尾 文武	日本近現代文学		
		有澤 知世	日本近世文学		
		田中 智子	日本中古文		
		池田 来未	日本語文法		
		濱田 麻矢	中国現代文学		
		○◇ 朴 鐘祐	日韓比較文学		
		早川 太基	中国古典文学		
		◎ 周 榮勝	中国詩学・比較文学		
		英米文学	<p>英米文学では、広く西洋文学を視野に入れつつ、イギリス及びアメリカの文学を教育研究の対象とする。文学テキストの生命ともいえる言葉そのものへの深い関心のもとに、文学テキストとしての英語、及び、文学をとりまく歴史的・社会的・文化的コンテクスト（文脈）への深い理解を養成し、テキスト（言葉）とコンテクスト（文脈）の交錯の彼方に、文学の存在を探求する。</p> <p>博士後期課程では、文学テキストの精緻な読解に加えて、先行研究の検証・批判と学術論文作成の訓練を行い、研究者の養成を目指す。</p>	山本 秀行	現代アメリカ小説・演劇
芦津 かおり	シェイクスピア・イギリス演劇				
奥村 沙矢香	20世紀イギリス小説				
平川 和	現代アメリカ小説				
ヨーロッパ文学	<p>ドイツ文学、フランス文学、イタリア文学からなるヨーロッパ文学では、それぞれの言語や文化に対する深い理解をめざした講義や研究指導が行われる。授業では、テキストの正確な理解と分析をもとに、テキストを作り上げている要因を様々な方法論を駆使しつつ、多角的に考察する。修士論文や博士論文作成の指導は、少人数ゼミや密接な個別面談を通じて、きめ細かく行う。</p>	☆ 増本 浩子	現代ドイツ文学・スイス文化論		
○◇ 河合 成雄	15-16世紀イタリア思想・文学				
中畑 寛之	現代フランス文学・思想				
久山 雄甫	ドイツ思想史・日欧文化比較論				
廣田 郷土	フランス語圏文学・思想				

備考 ○印はグローバル教育センター所属教員を示す。
 ☆印は令和8年3月31日付け退職教員を示す。
 ◎印は令和8年9月30日付け退職教員を示す。
 ◎◎印は令和9年9月30日付け退職教員を示す。(該当なし。)
 ◇印は令和10年3月31日付け退職教員を示す。

試験場案内図



◎市バス③⑥系統「鶴甲団地」「鶴甲2丁目止り」又は「鶴甲3丁目」行を利用し、阪神御影、JR 六甲道、阪急六甲から乗車、神大文理農学部前下車。所要時間はそれぞれ約25分、約15分、約10分。徒歩の場合は、阪急六甲から約15分。

令和8年2月

神戸大学大学院人文学研究科

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
電話 (078) 803-5595